

又ますだ

市議会だより

広報から「市議会だより」を抜き取られると読みやすくなります。



萬福寺（雪舟庭園）

第519回 3月定例会

3月定例会は、2月29日から3月25日までの26日間開催されました。

会期中に審議した案件は、予算28件、条例32件、人事6件、選挙1件、一般13件、報告2件、意見書2件、請願1件、陳情1件でした。

また、市政全般にわたって、15名の議員が一般質問を行いました。

主な内容

- こんなことが決まりました 2
- 3月定例会の審議結果 4～7
- 常任委員会報告 8～9
- 一般質問 10～17
- 請願・陳情審議結果 18
- 編集後記 18

こんなことが決まりました

平成28年度一般会計
予算・各特別会計予
算・水道事業会計予算

平成27年度一般会計
補正予算・各特別会
計補正予算

一般会計予算総額は、
267億9千800万円で
原案のとおり可決しまし
た。主な内容は表のとお
りです。

また、施設貸付事業特
別会計予算など13件の特
別会計と水道事業会計予
算についても、原案のと
おり可決しました。

平成28年度一般会計予算の主な内容

社会保障・税番号制度対策事業	5,216万円
高齢者福祉施設建設事業	2億4,617万円
第3子保育料無料化	2,105万円
萩・石見空港利用拡大促進協議会負担金等	9,732万円
矢原川ダム建設水源地域対策事業	6,600万円
中須東原遺跡整備事業	11億8,518万円

平成27年度一般会計補正予算の主な内容

学校建設事業費	2億2,130万円
優良建築物等整備事業費補助金	△1億3,270万円
新病院周辺整備事業費	△9,864万円

一般会計補正予算第5
号では、1億3千253
万9千円の減額補正予算
を可決し、予算総額は
280億6千196万2
千円になりました。主な
内容は表のとおりです。

また、介護保険特別会
計補正予算第4号など10
件の特別会計と水道事業
会計補正予算を原案のと
おり可決しました。

条例制定

益田市行政不服審査に関
する条例制定

行政不服審査法の施行
に伴う「行政不服審査会」
の設置並びにその組織及
び運営に関する規定を定
めるもの

行政不服審査法及び行政
不服審査法の施行に伴う
関係法律の整備等に関す
る法律の施行に伴う関係
条例の整備に関する条例
制定

行政不服審査法等の施
行に伴う関係条例の改正

益田市消費生活センター
の設置並びに組織及び運
営に関する条例制定

消費者安全法の改正に
伴う、センターの設置並
びにその組織及び運営に
関する規定を定めるもの

益田市立内田交流セン
ター設置及び管理に関す
る条例制定

廃校後の施設を市民の
交流の拠点となる公共施
設として設置することに
伴う設置及び管理に関す
る規定を定めるもの

益田市立多目的集会施設
設置条例制定

旧澄川小学校を匹見下
地区多目的施設として設
置することに併せた、関
係条例の改正

地方公務員法及び地方
行政法人法の一部を改
正する法律の施行に伴う
関係条例の整備に関する
条例制定

地方公務員法及び地方
独立行政法人法の一部を
改正する法律の施行に伴
う関係条例の改正

市長等の給料月額の減額
支給に関する条例制定

本市の財政状況を鑑み
た特別職給料月額の減
額。市長30%、副市長・
教育長20%

益田市職員給与の特例に
関する条例制定

本市の財政状況を鑑み
た職員給料月額の特例
管理職4%

益田市再生可能エネルギー
設備管理基金条例制定

再生可能エネルギーに
よる発電設備、蓄電設備
又はこれらに附属する設
備の維持管理に要する経

費に充てる基金の設置に
ついて規定を定めるもの

益田駅前ビルEAG A維
持管理基金条例制定

維持管理に要する経費
に充てる基金の設置につ
いて規定を定めるもの

益田市いじめ問題対策連
絡協議会等設置条例制定

いじめに関する問題解
決のために連絡協議会等
を設置することに伴う規
定を定めるもの

条例の一部改正

益田市地区振興センター
設置条例の一部を改正す
る条例制定

匹見下地区振興セン
ターの移転及び東仙道地
区振興センターの地番訂
正に伴う改正

益田市附属機関設置条例
の一部を改正する条例制
定

道の駅の整備に向けて
基本的な計画を策定する
ため、益田市道の駅整備
検討委員会の設置、及び
平成27年度をもって、益
田市次世代育成支援協議
会を廃止することに伴う
所要の改正

議会の議員その他非常勤
の職員の公務災害補償等
に関する条例の一部を改
正する条例制定

地方公務員災害補償法
施行令の改正に伴う所要
の改正

証人等の実費弁償に関す
る条例の一部を改正する
条例制定

農業委員会等に関する法
律の改正に伴う所要の改正

益田市特別職報酬等審議
会条例の一部を改正する
条例制定

審議会の構成人数を縮
減(14人↓10人)するた
めの改正

益田市職員給与に関する
条例等の一部を改正する
条例制定

平成27年度及び28年度
における給与改定に伴う
関係条例の改正

益田市手数料条例の一部
を改正する条例制定

既存住宅を増築又は改
築する場合の長期優良住
宅建築等計画認定申請、
並びに建築物エネルギー
消費性能向上計画認定申
請の手数料に関する規定
の追加及び新設

伴う所要の改正

益田市ふるさとづくり寄附条例の一部を改正する条例制定

事業規模拡大により寄附金の一部を事業費に充てることに伴う所要の改正

益田市奨学基金条例の一部を改正する条例制定

基金の額並びにその額が増減する場合の規定を定める所要の改正

秦佐八郎博士顕彰記念事業基金条例の一部を改正する条例制定

基金を充当できる事業の拡大に伴う所要の改正

益田市立老人福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

美都老人福祉センターの地番訂正に伴う所要の改正

益田市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する条例制定

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に

伴う所要の改正

益田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴う所要の改正

久々茂コミュニティ広場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

屋外照明施設の利用形態の変更に伴う所要の改正

益田市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定

新横田住宅の供用開始による、横田第1、第2、第3住宅の用途廃止に伴う所要の改正

益田市営住宅駐車条例の一部を改正する条例制定

市営横田・久城住宅の駐車場の有料化に伴う所要の改正

益田市立水防センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

区画整理事業に伴うセンターの地番変更

必要性がないと判断したことに伴う廃止

益田市奨学金貸付条例の一部を改正する条例制定

学校卒業後益田市に居住し就労する者に対する、奨学金の一部返還免除に伴う所要の改正

益田市公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

匹見下公民館の移転及び東仙道公民館の地番訂正に伴う改正

益田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定

行政不服審査法の施行に伴う所要の改正

益田市立水防センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

益田市議会会議規則の一部を改正する規則制定

出生に係る議会の欠席に関する所要の改正

条例の廃止

益田市災害救助基金条例
基金設立後、基金の活用がないため、存続の

一般議案

益田市名誉市民の決定

故 宮隅 啓 氏
故 飯塚 道正 氏

副市長 湊 直樹 氏

監査委員 長戸 保明 氏

公平委員会委員 高橋こなみ 氏

教育委員会委員 中野 純 氏

行政情報公開不服審査会委員 岡本 寛 氏

村上市 勝彦 氏

行政不服審査会委員 谷川 円 氏

岡本 良隆 氏

岡本 寛 氏

中村 圭子 氏

塩道 和則 氏

原 真帆子 氏

澄出 正義 氏

渡辺 隆 氏

吉松 志保 氏

人権擁護委員候補者

選挙

益田地区広域市町村圏事務組合議会議員

弘中 英樹 氏

市道路線

認定

指定管理者の指定

公の施設の名称	指定管理者
益田市立益田市総合福祉センター	社会福祉法人益田市社会福祉協議会
益田市立市民憩いの家	公益社団法人益田市シルバー人材センター
益田市立ひまわりの家	NPO 法人きずな
益田市立障害者就労支援施設	株式会社きのこハウス
益田市立開発地営農研修センター	島根県農業協同組合西いわみ地区本部
益田市立久城会館	久城西自治会

★次回定例会の予定は

6月6日(月)～6月24日(金)です。

なお、正式決定は、5月下旬の議会運営委員会で行います。

お問い合わせは、議会事務局までお願いします。(☎ 31-0490)

議案番号	佐々木恵二	高橋伴典	中島賢治	石川忠司	大賀満成	三浦智	和田昌展	梅谷憲二	河野利文	安達美津子	久城恵治	中島守	松原義生	永見おしえ	弘中英樹	林卓雄	大久保五郎	福原宗男	野村良二	寺井良徳	久保正典	
◆市長提出議案◆																						
報第1号																						
報第2号																						
議第1号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議第2号		○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	
議第3号		○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議第4号		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第5号		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第7号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第13号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議第18号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第19号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第26号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第28号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第34号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第35号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第37号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第40号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第42号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第43号		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第44号		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第45号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	賛成	反対
◆市長提出議案◆				
報第1号	専決処分報告について	報告		
報第2号	専決処分報告について	報告		
議第1号	益田市名誉市民の決定について（故宮隅 啓氏）	同意	19	0
	益田市名誉市民の決定について（故飯塚 道正氏）	同意	19	0
議第2号	平成28年度益田市一般会計予算	可決	16	4
議第3号	平成28年度益田市施設貸付事業特別会計予算	可決	18	2
議第4号	平成28年度益田市介護保険特別会計予算	可決	19	1
議第5号	平成28年度益田市国民健康保険事業特別会計予算	可決	19	1
議第6号	平成28年度益田市後期高齢者医療特別会計予算	可決	19	1
議第7号	平成28年度益田市簡易水道事業特別会計予算	可決	20	0
議第8号	平成28年度益田市市有林事業特別会計予算	可決	20	0
議第9号	平成28年度益田市造林受託事業特別会計予算	可決	20	0
議第10号	平成28年度益田市匹見財産区特別会計予算	可決	20	0
議第11号	平成28年度益田市益田駅前地区市街地再開発事業特別会計予算	可決	19	1
議第12号	平成28年度益田市農業集落排水事業特別会計予算	可決	20	0
議第13号	平成28年度益田市公共下水道事業特別会計予算	可決	20	0
議第14号	平成28年度益田市駐車場事業特別会計予算	可決	20	0
議第15号	平成28年度益田市土地区画整理事業特別会計予算	可決	20	0
議第16号	平成28年度益田市水道事業会計予算	可決	20	0
議第17号	財産取得の変更について	可決	19	0
議第18号	平成27年度益田市一般会計補正予算第5号	可決	20	0
議第19号	平成27年度益田市介護保険特別会計補正予算第4号	可決	20	0
議第20号	平成27年度益田市国民健康保険事業特別会計補正予算第4号	可決	20	0
議第21号	平成27年度益田市後期高齢者医療特別会計補正予算第4号	可決	20	0
議第22号	平成27年度益田市簡易水道事業特別会計補正予算第3号	可決	20	0
議第23号	平成27年度益田市市有林事業特別会計補正予算第2号	可決	20	0
議第24号	平成27年度益田市造林受託事業特別会計補正予算第3号	可決	20	0
議第25号	平成27年度益田市匹見財産区特別会計補正予算第1号	可決	20	0
議第26号	平成27年度益田市益田駅前地区市街地再開発事業特別会計補正予算第1号	可決	20	0
議第27号	平成27年度益田市農業集落排水事業特別会計補正予算第3号	可決	20	0
議第28号	平成27年度益田市公共下水道事業特別会計補正予算第3号	可決	20	0
議第29号	平成27年度益田市土地区画整理事業特別会計補正予算第4号	可決	20	0
議第30号	平成27年度益田市水道事業会計補正予算第3号	可決	20	0
議第31号	益田市行政不服審査に関する条例制定について	可決	20	0
議第32号	行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	可決	20	0
議第33号	益田市消費生活センターの設置並びに組織及び運営に関する条例制定について	可決	20	0
議第34号	益田市地区振興センター設置条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第35号	益田市立内田交流センター設置及び管理に関する条例制定について	可決	20	0
議第36号	益田市立多目的集会施設設置条例制定について	可決	20	0
議第37号	益田市附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第38号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	可決	19	1
議第39号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第40号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第41号	益田市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第42号	益田市職員給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第43号	市長等の給料月額減額支給に関する条例制定について	可決	19	1
議第44号	益田市職員給与の特例に関する条例制定について	可決	19	1
議第45号	益田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0

議案番号	佐々木恵二	高橋伴典	中島賢治	石川忠司	大賀満成	三浦智	和田昌展	梅谷憲二	河野利文	安達美津子	久城恵治	中島守	松原義生	永見おしえ	弘中英樹	林卓雄	大久保五郎	福原宗男	野村良二	寺井良徳	久保正典
議第46号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第47号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第48号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第49号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第50号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第51号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第54号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第55号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第56号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第57号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第58号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第59号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第60号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第61号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第62号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第63号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第65号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第66号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第67号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第68号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第69号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第70号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第71号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第72号		○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第73号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第74号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第75号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第76号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第77号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆議員提出議案◆

選挙第1号	指名推選																	欠	指名推選							
議第78号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議第79号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

◆請願・陳情◆

請願第1号	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●
陳情第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※平成27年3月定例会より、請願・陳情案件は原案に対し賛成の議員を○、反対の議員を●としています。

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除：除斥 ※議長（佐々木恵二）は採決に加わらない

議案番号	件名	審議結果	賛成	反対
議第46号	益田市ふるさとづくり寄附条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第47号	益田市り災救助基金条例を廃止する条例制定について	可決	20	0
議第48号	益田市奨学基金条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第49号	秦佐八郎博士顕彰記念事業基金条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第50号	益田市再生可能エネルギー設備管理基金条例制定について	可決	20	0
議第51号	益田駅前ビルEAGAM維持管理基金条例制定について	可決	20	0
議第52号	益田市立老人福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第53号	益田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第54号	益田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第55号	久々茂コミュニティ広場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第56号	益田市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第57号	益田市営住宅駐車場条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第58号	益田市奨学金貸付条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第59号	益田市公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第60号	益田市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例制定について	可決	20	0
議第61号	益田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第62号	益田市立水防センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	20	0
議第63号	工事請負契約の締結について	可決	20	0
議第64号	益田市立総合福祉センターの指定管理者の指定について	可決	20	0
議第65号	益田市立授産施設の指定管理者の指定について	可決	20	0
議第66号	益田市立障害者就労支援施設の指定管理者の指定について	可決	20	0
議第67号	益田市立多目的集会所の指定管理者の指定について	可決	20	0
議第68号	市道路線の認定について	可決	20	0
議第69号	第5次益田市総合振興計画後期基本計画の策定について	可決	20	0
議第70号	益田市過疎地域自立促進計画の策定について	可決	20	0
議第71号	益田市辺地総合整備計画の変更について	可決	20	0
議第72号	副市長の選任について(湊 直樹氏)	同意	18	2
議第73号	監査委員の選任について(長戸 保明氏)	同意	20	0
議第74号	公平委員会委員の選任について(高橋 こなみ氏)	同意	20	0
議第75号	教育委員会委員の任命について(中野 純氏)	同意	20	0
議第76号	行政情報公開不服審査会委員の任命について(岡本 寛氏)	同意	20	0
	〃(村上 勝彦氏)	同意	20	0
議第77号	行政不服審査会委員の委嘱について(谷川 円氏)	同意	20	0
	〃(田原 良隆氏)	同意	20	0
	〃(岡本 寛氏)	同意	20	0
	〃(中村 圭子氏)	同意	20	0
	〃(塩道 和則氏)	同意	20	0
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(原 真帆子氏)	適任	20	0
	〃(澄出 正義氏)	適任	20	0
	〃(渡辺 隆氏)	適任	20	0
	〃(吉松 志保氏)	適任	20	0
◆議員提出議案◆				
選挙第1号	益田地区広域市町村圏事務組合議会議員の選挙について(当選者:弘中英樹議員)	選挙執行		
議第78号	益田市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	可決	20	0
議第79号	次期「第一種特定鳥獣(ツキノワグマ)保護計画」に関する意見書について	可決	20	0
議第80号	参議院選挙制度に対する意見書について	可決	20	0
◆請願・陳情◆				
請願第1号	所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について	不採択	4	16
陳情第1号	次期「第一種特定鳥獣(ツキノワグマ)保護計画」に関する意見書の提出について	採択	20	0

★除斥とは★ 議会における審議を公正なものとするため、議題となった案件と利害関係にある議員をその審議に参加できないようにすることです。

総務文教委員会

平成28年度 益田市施設
貸付特別会計補正予算

委員から、中央競馬の馬券を販売する可能性やPRについて質問がありました。執行部から、システム改修の必要があるが売り上げの伸び悩みもあり検討したいと答弁がありました。

市長等の給料月額
の減額支給に関する条例制定について

委員から、減額支給の見直しの必要性や、他市の減額状況について質問がありました。執行部から、報酬審議会からも答申を受けているが、減額は市長判断である。他市の状況については、松江市5万4千円減、出雲市15%減、安来市20%減、江津市15%減、雲南市10%減、浜田市、大田市は減額なしと答弁がありました。



益田市ふるさとづくり寄附条例の一部を改正する条例制定について

委員から、ふるさとづくり寄附金の協力事業者の状況や、使途の状況などの質問がありました。執行部から、協力事業者については現在募集中である。使途については主に返礼品に充当するが、子育てに使うて欲しいという希望や益田に協力したいというメッセージがあると答弁がありました。

益田市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例制定について

委員から、組織の形態や、重大事態の場合の対応について質問がありました。執行部から、対策連絡協議会は市長部局、教育委員会は付属機関として必要な組織を置く。重大事態の調査は付属機関が行うと答弁がありました。

第5次益田市総合振興計画後期基本計画の策定について

委員から、総合戦略との整合性、庁内体制、体系化について質問がありました。執行部から総合戦略を勘案して作成した、庁内の横連携は重要計画は体系化すると答弁がありました。

請願第1号所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について

委員から、白色申告も記帳義務があり、納税を正しくすれば問題ないので親族の所得を経費と認めるべき。一方では、青色申告と白色申告を同等に扱うのは問題がある。条件はあるが白色申告から青色申告に移行することができるとの意見があり結果は不採択となりました。



福祉環境委員会

平成28年度 益田市介護
保険特別会計予算

委員から、保険料の滞納分の主な原因について質問がありました。執行部からは、普通徴収での徴収が難しい状況であると説明がありました。また、介護報酬の改定による市内事業者の運営状況についての質問に対しては、特に予防介護の報酬が約20%減額されたことで、運営が厳しい状態とありました。

平成28年度 益田市民
健康保険事業特別会計予算

委員から、当初予算編成にあたり、歳入財源が厳しい中で、今後の保険税についての質問がありました。執行部からは、前期高齢者交付金が平成27年度大幅に減額されたため、新年度国保連合会から借入を行うことにより、今後償還が発生する

ので保険税について検討する必要がありますと答弁がありました。また、国保の広域化については、島根県市町村国保広域化連携会議で、県内で統一した保険税にするのか、または各市町村で決定する方式にするのか検討が進められている。県内で統一した保険税になると、

当市の場合現況より保険税が引き上げになる可能性があるので、各市町村で決定する方式が望ましいのではないかと考えていると答弁がありました。

平成27年度 益田市民健康保険特別会計補正予算第4号

委員から、保険税の遡及が発生した理由について質問がありました。執行部から、個人事業所であっても従業員が5人以上雇用の場合は、社会保険に加入の義務があるが、加入していなかった

事業所が監査で判明し、3年遡り社会保険に加入したためであると答弁がありました。

益田市指定地域密着型サービス
の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

委員から、サービス事業の指定地域の定員は18人となっているが、今後、この定員は増員する可能性があるかとの質問がありました。執行部から、災害時等を除けば、18人定員で対応することになると説明がありました。

付託された議案13件は
全て原案どおり可決しました。

経済建設委員会

平成28年度益田市簡易水道事業特別会計予算

委員から、平成28年度簡易水道事業特別会計は

匹見地区の統合がメインになるが、その対応について質問がありました。

執行部から、新年度は建設改良事業に2億円予算措置し、その対応をする

と答弁がありました。また、上水道との統合に向けて、小原飲料水の浄水施設整備、出合原の飲水の浄水施設急速濾過の整備を図ると答弁がありました。

平成28年度益田市駐車場事業特別会計予算

委員から、駐車場整備工事についての質問がありました。執行部から、駐輪場部分において、定期契約者以外の利用や盗難被害なども発生していることから、駐車場と同じように入口にゲートシステムを導入し、管理していきたいと答弁がありました。また、駐輪場には防犯カメラが設置して

あり、常時録画していると説明がありました。

平成28年度益田市市有林事業特別会計予算

委員から、拡大造林事業費の内容について質問がありました。執行部から、市有林の財産造成及び保全の為の施策を実施している。内容は施業箇所2カ所を考慮しており切り捨て間伐を行う。面積は20haで、集材路の開設

2団地で3700m延長を考えている。搬出材料運搬1180mの間伐を出す計画であると答弁がありました。

平成28年度益田市匹見財産区特別会計予算

委員から、財産区委員について質問があり、執行部から制度の説明がありました。

平成28年度益田市農業集落排水事業特別会計予算

委員から、27年度のつなぎ込みの見込み率について質問がありました。執行部から、横田安富地区73・0%、宇津川

地区77・6%、仙道地区73・1%で全体の平均は74・2%となる見込みである。全国の平均は70・59%であり、当市は高い率であると答弁がありました。

平成27年度益田市水道事業会計補正予算第3号

委員から、上水・簡水と統合後の水道料金の試算について質問がありました。執行部から、将来的にそれぞれの設備の更新計画を見据えたうえで料金改定の試算をする計画であると答弁がありました。

付託された議案25件は全て原案どおり可決しました。

陳情第1号次期「第一種特定鳥獣(ツキノワグマ)保護計画」に関する意見書の提出について

委員から、熊被害に対する不安の声は年々高まってきている。採択すべきと意見がありました。採決の結果、賛成多数で採択となりました。

一般会計予算審査委員会

平成28年度益田市一般会計予算

〔総務費〕

UITターン者応援事業の実績と今後の取り組みについて、市出身者への情報発信・提供など、意見や提案がありました。

〔土木費〕

橋梁改修について計画的に進めるよう意見がありました。

〔農林水産費〕

高齢化の進む集落の維持に向けての取り組みや、有害鳥獣対策・森林資源活用事業について意見や提案がありました。

〔民生費〕

放課後児童クラブの入所児童について質問があり、執行部からは、待機児童が出ないよう調整中であると答弁がありました。

〔衛生費〕

産後母子デイケア事業について、利用方法の確

〔教育費〕

子どもの貧困と学力の関係についての意見や、まち全体の魅力を高める意味でも学力向上は欠かせないと意見がありました。

平成27年度益田市一般会計補正予算第5号

〔総務費〕

3月補正は事務事業費の実績見込み、事業費の確定によるものが主で1億3千253万9千円の減額補正でした。

〔土木費〕

橋梁改修について計画的に進めるよう意見がありました。

〔農林水産費〕

景観まちづくり事業について今後、地域自治組織との連携を考えるよう意見がありました。

〔消防費〕

消防団員確保対策の強化や減額された分団活動費補助金について意見がありました。

〔教育費〕

子どもの貧困と学力の関係についての意見や、まち全体の魅力を高める意味でも学力向上は欠かせないと意見がありました。

〔商工費〕

執行部から、萩・石見空港利用拡大のための今後の負担について、説明がありました。

平成27年度益田市一般会計補正予算第5号

〔総務費〕

委員から、超過勤務手当縮減の取り組み状況の質問に対し、前年度比10%強の縮減実績の答弁がありました。引き続き取り組みを強化するよう意見がありました。

〔土木費〕

橋梁改修について計画的に進めるよう意見がありました。

〔農林水産費〕

景観まちづくり事業について今後、地域自治組織との連携を考えるよう意見がありました。

〔消防費〕

消防団員確保対策の強化や減額された分団活動費補助金について意見がありました。

〔教育費〕

安田小学校校舎体改築工事の予算措置について説明がありました。委員から、益田市の担い手育成ひとづくり推進事業について質問等がありました。



一般質問

市政のここが知りたい

一般質問の記事は、決められた文字数の中で議員本人が要約し掲載しています。

詳細については次の方法によりご覧ください。

◆インターネット

- ・一般質問の様子の録画中継を、全質問者の日程終了約1週間後から配信しています。
- ・会議録は定例会終了3カ月後から閲覧できます。

◆会議録(冊子)

議会事務局、美都・匹見総合支所、各地区振興センター、図書館でご覧いただけます。
なお3月定例会の会議録は6月に発行予定です。

益田市議会

検索

代表質問

●市長の市政運営

- ・人づくり
- ・地域活性化の方策
- ・定住基盤のしごとづくり
- ・農業の維持、発揮の取り組み



林 卓雄 議員(新政会)

質問 益田市総合戦略の大きな特色である「人づくり」はどのような思いで進めるのか。

答弁 基本目標として、定住基盤となる仕事をつくる、結婚・出産・子育ての希望をかなえる、益田に回帰・流入・定着する人の流れをつくる、地域にあるものを活かし、安心して暮らせるまちをつくる、の4つをかかげ、次世代の担い手育成、地域の担い手育成、これら

を総括して「人づくり」をテーマにした。

質問 「人づくり協働構想」において行政組織の縦割りを排し、横断的に部署が取り組むこととしているが、最終的には誰が中心となって調整していくのか。

答弁 推進本部長は市長が担う。事務局は人口拡大課、社会教育課が担う。本部の中に「人づくり推進委員会」を置き、政策企画局長が委員長として最終的な事務方の調整役を担う。

質問 「人づくり」によって今後の益田市の活路を開くとの信念のもとに取り組むようであるが、市民の周知と当面急務の支援をどう考えているのか。

答弁 市民の皆さまにご理解を頂くためいろいろな会合、市長と語り合う会や、人づくりの各事業の一元化を進めていく。公民館、地区振興センターの職員や、子ども達の活動を支援する、地域コーディネイターの研修会を通じリーダーを育成

し、ひとづくりの機運醸成を図る。

質問 行政との関わりが極めて薄い地域での人づくり、地域活性化はどのように進めるのか。

答弁 地区振興センター、公民館が中心となり教育活動を進め、学び・集い・活動する人がつながる学びの循環を作っていく。

質問 定住の基盤となる仕事・新規企業の立地及び立地企業の規模拡大による雇用の取り組みを問う。

答弁 今後もトップセー ルスを積極的に取り組むことにより、企業との信頼関係を築いていく。市民や企業からの情報提供や島根県と連携して取り組んでいく。

質問 農業の多面的機能の維持、発揮から現状を踏まえての取り組みは。

答弁 集落は、農業の生産活動を通じて維持され、生産という面だけでなく、国土や自然環境の保全、伝統文化の継承などの役割がある。人・農地プランを基本として地域活動を支援していく。

- 市長の政治姿勢
 - ・ 総合戦略
 - ・ 人口ビジョン
- 教育行政施策の取り組み
 - ・ 学力向上施策の取り組み



大久保 五郎 議員(改革の会)

い財政である。財政調整基金も約5億円となった。財政指標数値も悪化した。市民への理解をどのように得ていくのか問う。

答弁 基金残高が非常に少なく、財政状況は厳しい。事業を見直し、市債発行の抑制を図りつつ喫緊の課題と、総合戦略に掲げた施策に取り組む。

質問 職員に問われている企業感覚、コスト意識、アイデア、スピードについての所感を問う。

答弁 業務改善事例発表会を開催した。今後業務改善を図り、職員の能力向上と職務をより適切・適正に行うことを目標に、4月より人事評価制度を全職員対象に行う。

質問 結婚、出産、子育て支援について、県、当市の施策を問う。

答弁 第1子及び第2子の3歳未満児の保育料の軽減、第3子以降の3歳未満児の保育料の無料化を実施する。

質問 当市の木材産業、製品のトップセールスの

取り組みを問う。

答弁 森林資源が豊富にあり製材産業の販売に力点を置く。木材需要拡大プロジェクトに参画し、民間とともに取り組む。

質問 当市の教育行政の取り組みの結果について問う。

答弁 現状は課題を抱えている。教育ビジョン、社会教育推進計画、教育大綱に基づき取り組んでいく。

質問 当市の学力は全国平均に到達していない。対策を問う。

答弁 教員の指導力向上を図り、学力向上連携推進事業を具体的に進める。未来を担う人づくり計画を策定し、ふるさとの中で体験と語り合いに力点をあて、学習に対する意欲を高めていく。私たちのまち発見事業、子育て環境整備事業、子育てパワーアップ事業を推進し、計画推進の基盤を目指す。

- 施政方針と予算
 - ・ 地方創生事業の推進体制
 - ・ 観光振興の取り組み
 - ・ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 教育行政の取り組み方針
 - ・ 平成28年度学力向上プラン
 - ・ 地域の学びの場の充実



河野 利文 議員(ますだ未来)

交付税収入の減額や歳出面での扶助費の増大などが挙げられるが、最も大きいのは平成24年度に方針が決定していた中須東原遺跡の整備事業による歳出。加えて平成28年度は益田市総合戦略の実質的に最初の年度となり、こうした喫緊の課題や優先的な課題に配分せざるを得なかった。

質問 観光振興・MICE誘致計画では平成28年度は優先的に何に取り組むのか。

答弁 まち歩き観光の推進事業や中世の食を活かした交流人口の拡大事業として、歴食JAPANサミット第2回大会の開催、石州口の戦い開戦百五十周年事業を実施する。

質問 結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組みとして行う保育料の軽減も、もっと拡充する必要があると思うが。

答弁 今回の第1子・第2子あるいは第3子以降の保育料の軽減や無料化については、対象が3歳未満児なので、3歳以上

の保育料の軽減や無料化については、対象が3歳未満児なので、3歳以上

児の軽減は課題として残っている。

質問 示された教育行政の取り組み方針では、平成28年度学力向上プランを策定するとされているが、具体的にはどのような取り組みになるのか。

答弁 ICTや学校図書館を活用した意欲が高まるような授業改善。家庭学習啓発のための中学生保護者向けのリーフレットの作成。学び舎ますだなど地域の学びの場づくりによる学習習慣の醸成、教科学力を高めるための訪問指導や研修を計画的に実施する。

質問 地域の学びの場の事業効果を高めるため学校との連携は考えているか。

答弁 地域の教育の場に学校の教員がかかわること、学校では見えなかつた児童・生徒の姿に接することができる、児童・生徒に自信を持たせることにもつながると考えている。学校へ情報発信をして、指導に活かしていくことを求めていく。

- 市長の政治姿勢
- 企業の競争力強化
- 観光振興
- 行財政改革



松原 義生 議員(市民クラブ)

質問 日本経済が抱える課題に、インフレ2%の実現、年金財源運用の株式投資比率拡大による運用益の不安定化、TPPによる国内農業への保護の難しさなどがある。それに対して、健全な市民生活、産業活動の展開にどのように行政力を発揮させようとするのか。

回答 行政運営において人口の減少が市民活動の縮小をもたらし、やがて行政サービスの縮小をもたらすとともに、高齢化社会の進展が扶助費等の義務的経費の増大を招き、また老朽化の進む公共施設への修繕対応などは先送りのできない大きな課題であるのに、年々厳しさを増す当市の財政事情の中にあつては、従来どおりの行政サービスを提供することが次第に難しくなっている。

そこで地域の課題は可能な限り地域で協力して解決する自治力の強化が求められる。この住民自治の中核組織として期待している地域自治組織の設立に引き続き地域の状況に応じた支援をしたい。

このため地域を担う人づくりに取り組みと共に、人口拡大への挑戦を続け、市民が幸福を実感できるまちづくりを進めたい。

質問 観光資源を活かした観光振興に観光協会が力を発揮できる施策は。

回答 観光協会は観光振興等において中心的役割を担っている。行政と観光協会などの民間組織との役割分担をどのようにするか今後の課題として考えたい。

質問 福祉・障がい者施設等の運営は大変厳しい状況と思うが。

回答 財政運営については大変厳しい中で、不本意ながらもやむを得ずシーリング枠を設けて予算編成した。福祉分野への影響を最小限にとどめるよう努力してきた。障がい者施策については、益田市障がい者自立支援協議会や関係機関と協議を重ねるとともに、障がい者団体等との話し合いも行ってきた。これらの機関や団体との連携を更に深めて、障がい者や高齢者、全ての市民が住みよいまちになるよう取り組みたい。

● 市長の政治姿勢

- ・ 益田駅前南北連絡橋
- ・ 医師確保
- ・ 高齢化福祉
- ・ 安全で活力ある漁村づくり



弘中 英樹 議員(清流会)

質問 益田駅前南北連絡橋については、第五次益田市総合振興計画において益田駅前地区周辺のにぎわいの創出を図るとしており、今後に向かっての事業の推進の考え方、方針について問う。

回答 中・長期的な展望に立つて検討を進めるとともに、円滑な事業着手が図れるように必要な調査や協議を継続していきたい。

質問 依然として医師不足が続く中、医師確保に向けてはこれまでのさまざまな取り組みを地道に

続けていくしかないのか問う。

回答 医師確保については早々に大きな改善というのは見込めないが、現在当市が取り組んでいる、支える、招く、育む、連携するといったさまざまな事業を今後も引き続き粘り強く行っていく。

質問 高齢者が安心して生活するためには、地域とのつながりの構築や医療や介護の体制構築を進める必要がある。高齢者の生きがいや自己実現を図ることが出来るよう「居場所」と「出番」を作ってはどうか。

回答 現在介護予防の視点から、高齢者の居場所と出番の場として、身近な地域での住民主体の集いの場の拡大、充実に向けて取り組んでいる。高齢者の方々が生き生きと集い、生きがいを持ち、安心して生活ができる地域を目指し、地域の状況、特性を活かした地域包括ケアシステムの構築を推進していきたい。

質問 認知症高齢者に対する支援等の施策の推進により、住み慣れた地域のよい環境の中で生活できる体制づくりをしてはどうか。

回答 第六期老人福祉計画及び第六期介護保険事業計画において認知症高齢者にやさしいまちを目指し、新オレンジプランを基盤として、取り組む。

質問 獲るだけの漁業から、つくり育てる漁業への取り組みについて問う。

回答 県を初めとする石見西部地区の関係市町で構成する各種の協議会において、つくり育てる漁業の普及拡大に取り組んでいる。

質問 浜の活力再生プランについて問う。

回答 漁村における漁業者の所得向上を実現させ漁村の活性化を図っていく。後継者育成についても働く場の確保に努めていきたい。



個人質問

- 地域自治組織
- 地域おこし協力隊
- 道の駅



梅谷 憲二 議員

質問 地域自治組織の現状をどのように捉えているのか問う。

答弁 地域自治組織は非常に困難で、決して簡単ではないが事業の方向性や求めるものに間違いはない。自信を持って進めて行きたい。

質問 地域自治組織のアンケート調査について、ある地区では地域自治組織について知らないという方が70%〜80%以上あったそうだが、見解を問う。

答弁 隊員一人一人と面談を行って、職場内での人間関係、研修での不満、不安はないか、地域との関わり方等の聞き取り調査も行っているが、言動や表情などからも仕事になじんでいると思う。地元での活動でも、地域住民や先輩のイターン者との交流をはじめ地域活動に積極的に参加している状況である。

質問 平成27年度道の駅の概略調査の進捗状況について問う。

答弁 9月に調査業務委託発注をし、3月に出来上がるということで、今最終的な調整をしている。調査検討結果がまともになり次第改めて議会に報告する。

質問 道の駅基本構想策定はコンサルタント等へ業務委託を考えているがどのような業者を選定するのか。

答弁 業者については当市に登録のある業者だということしか今言える段階ではない。

- 匹見地区における自伐型林業地域づくり推進事業と森林資源活用事業
- 鳥獣対策と地域活性化



中島 守 議員

質問 自伐型林業による地域づくり戦略に対しての本気度について問う。

答弁 自伐型林業による地域づくり戦略を契機として、都市地域より地域おこし協力隊となる都市住民を積極的に誘致し、新たな林業の担い手として確保、育成するとともに、森林資源を活用した地産地消のエネルギー循環を作り出し、地域活性化に繋げていく取り組みにしたい。

質問 中間土場である森の産直市場の重要な業務は、地域おこし協力隊制

答弁 中長期的な目標としては、匹見峡温泉の薪ボイラーへ供給する年間420トン以上の原木の継続的な林地残材等の収集システムを構築する。その上で、木質バイオマス発電への材の供給、木工加工用の確保、A材B材の市場出荷、家具メーカーへの広葉樹の出荷を計画している。これらを実現させることで事業の採算はとれると考

質問 鳥獣による農作物への被害やツキノワグマによる脅威に対して要望書が出されているが、平成28年度当市の対策について問う。

- 萩・石見空港
 - ・二便化継続を受けて
 - ・空港の将来的な展望
- 観光振興
 - ・益田市観光振興MICE誘致計画



三浦 智 議員

質問 昨年12月22日に東京線2便化について、旅客数の増加や地域連携、経済の活性化等が評価され平成30年3月まで2年間延長された。当市としてこの2年間でどう活かしていくか問う。

答弁 インバウンド対策では、周遊型旅行や着地型旅行の推進と海外からの誘客。アウトバウンド対策では、観光客やビジネス客の増大を図り、外部要因に左右されない安定した誘客・送客確保に努める。

質問 関係者の尽力によ

り2便運航が継続された。今後、2便運航を最小の経費で最大の成果が上がるよう、助成の在り方の工夫、各関係の強化、圏域住民の意識醸成が重要と考えるがどうか。

答弁 この圏域において萩・石見空港は唯一の高速交通手段であり、観光や産業などの地域振興にも必要不可欠である。この2年間の取り組みが正念場になると思う。県や航空会社と連携し、さらなる利用促進を図っていく。圏域住民の皆さま方にも空港の貢献度を改めて認識してもらい、将来的に安定した空港運営につなげたい。

質問 益田市観光振興・MICE誘致計画が示された。平成28年4月から平成33年3月までの5年間の計画で、総合戦略の観光施策マスタープランという位置づけである。当市における観光への考えや思いについて問う。

答弁 観光は旅行業、宿泊業、飲食業など幅広い

分野に及び、消費や産業を生み、投資を呼び込み、経済成長や地域活性化を支える重要な産業である。また、歴史・芸術・文化・交流など多面的な広がりを持ち、さまざまな波及効果がある。近年、団体旅行から個人旅行に移行し、観光に求めるものの多様化や、情報の入手手段に環境変化が起こっている。今までの以上にきめ細かな対応が必要になってきている。価値の創造による交流人口の拡大及び滞在時間の延長を基本理念とし、観光振興とMICE誘致の2つの基本戦略により取り組みを進める。

質問 観光振興から人口拡大へ、どうつなげていくのか問う。

答弁 当計画を定住の基盤となる、しごとづくり位置づけ、体験プログラムや旅とともに暮らしを感じてもらおうプロモーションを展開し、交流人口の拡大のみならず、定住人口の増加にもつなげたい。

質問 障害者差別権利条約の関連で『障害を理由とする差別を解消する法律』の施行が今年4月から始まるが、そのためにどのような準備をしてきたのか。

答弁 障がい者団体、益田市障がい者サービス提供事業所を始め、障がい者福祉に関係する機関と協議し、『安心いきいきプラン』により進めている。当市の対応要領については国・県の対応を受

- 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」施行
- TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が益田の農業に与える影響



福原 宗男 議員

質問 障害者差別権利条約の関連で『障害を理由とする差別を解消する法律』の施行が今年4月から始まるが、そのためにどのような準備をしてきたのか。

答弁 障がい者団体、益田市障がい者サービス提供事業所を始め、障がい者福祉に関係する機関と協議し、『安心いきいきプラン』により進めている。当市の対応要領については国・県の対応を受

けて、できるだけ早急に策定していく。

質問 障害者権利条約第2条の定義に「合理的配慮」とあるが、例えば事業所ごとに『合理的配慮ガイドライン』『合理的配慮事例集』など作るべきと思うがどうか。

答弁 ガイドラインのような形でまとめる必要があると考えている。

質問 障害者差別解消法の施行について、職員への周知徹底をどのように考えているのか。

答弁 安心いきいきプランを各課に配布し、周知を図るとともに研修会等も開催している。

質問 TPPでどのような影響があるかという調査を共同通信社が全国の自治体に行った。その結果、30%以上の影響があると回答したのは北海道、東北6県を含む14県。マイナス5%以下と回答したのは東京、他9府県でありいずれも大都市圏であった。

マスコミの報道による

と、全国のJA組合長の92%が国会決議は守られていないと感じているし、私もそう思っている。このような状況をどう思っているか。

答弁 政府は、米、牛肉、豚肉、乳製品といった主要品目を中心に、関税の例外をしっかりと確保することができたというが、国民生活にとって、また、当市にとってきわめて重要な産業でもある農業に影響が懸念される。「TPPの大筋合意」については、今後国において万全な対策を講じて頂きたい。

と、全国のJA組合長の92%が国会決議は守られていないと感じているし、私もそう思っている。このような状況をどう思っているか。

答弁 政府は、米、牛肉、豚肉、乳製品といった主要品目を中心に、関税の例外をしっかりと確保することができたというが、国民生活にとって、また、当市にとってきわめて重要な産業でもある農業に影響が懸念される。「TPPの大筋合意」については、今後国において万全な対策を講じて頂きたい。



農作業水田代掻

● 地域振興

- ・益田市地域公共交通計画（案）
- ・地域公共交通の課題と取り組み
- ・地域自治組織



大賀 満成 議員

質問 地域公共交通問題は喫緊の課題である。新たに計画を策定するが、できることから早く対処する考えについて問う。

答弁 交通事業者の意向を踏まえて取り組みが、協議、調整が整えばできるだけ早く実行に移す。

質問 高齢者の交通事故は憂慮すべき問題である。免許返納促進の取り組みや公共交通の利用環境整備などの高齢者対策の考えを問う。

答弁 高齢者の免許返納

制度で事業者による運賃の半額助成がある。また、利用環境整備はバス待合環境の整備、乗り継ぎダイヤの見直しなどの取り組みで、免許返納者の増加を図っていく。

質問 行政負担は年々増加傾向にある。補助金の在り方の検討状況について問う。

答弁 活性化協議会の中ではしていないが、交通事業者への補助金や生活バス等の行政負担は平成26年度決算で1億6800万円になる。現状の予算状況で維持していくことは厳しいと感じている。

質問 利用者を増やすために、上限金額の設定や利用者のインセンティブなど、負担軽減策の必要性について問う。

答弁 路線バスの運賃は距離制のため何ともしがたい。ただ、運賃が高額で高齢者にとって負担が大きいことは十分認識している。また、インセンティブについては事業者と利用率を高める方策を

協議していく。

質問 計画案で地区振興センター単位での運行対策協議会（仮称）の立ち上げを考えているが、地区では地域自治組織づくりも進めている。推進体制をどのように考えているか問う。

答弁 地域自治組織の中で地区の課題となっていることは承知している。別の組織をつくるのではなく、地域自治組織設立の過程において進められれば良いと考えている。

質問 地域自治組織設立のステップアップに中心となるリーダーの役割が重要と考えるが、ひとつづつをサポートしていく体制について問う。

答弁 リーダーによって組織の成否が決まるといっても過言ではないと考える。総合戦略やまちづくり協働構想をつくる上で、さまざまな機会を通じ地域を支えるリーダーづくりを力強く進めていく。

● 各種臨時的給付措置

- ・多子世帯支援事業
- ・臨時福祉給付金支給事業
- ・子育て世帯臨時特例給付金支給事業
- ・年金生活者等支援臨時福祉給付金



和田 昌展 議員

質問 平成26年、27年と給付されてきた、多子世帯支援事業にかかわる多子世帯応援商品券、臨時福祉給付金事業という

低所得者に対する給付金、そして子育て世帯への給付金。さらに国会で議論され来年度予定されている年金生活者等への給付事業は一人について3万円の高額な給付を対象者一千万人以上、3千億円の予算で給付するという。夏に想定される参議院選対策とは言わないが、消費税引き上げに当

たつては税と社会保障の一体改革といわれたにもかかわらず年金制度や介護保険制度、国民健康保険制度など目に見えた前進があると思えない。年金が目減りし、介護保険制度も改悪される中で、こうした単発的な給付措置で良いのか。実績をどう捉え、また残る課題は何か。

答弁 平成27年度、多子世帯支援事業、多子世帯応援商品券は地方への好循環拡大に向けた国の緊急経済対策として、子育てや教育等に係る支出が大きい多子世帯の負担軽減を図る観点から、地域における消費喚起に直接効果を有する生活支援を推進することを目的として実施された。多子世帯への負担軽減を図るとい

う面では一定程度の効果があつたと考える。臨時福祉給付金は消費税の増税対策として、低所得者層への支援策として一定の効果があるものと予想されるが、申請しない人には給付できないという

課題があり平成28年度の給付率の向上に努めた

い。
年金生活者等支援臨時給付金はいわゆるアベノミクスによる賃金増の恩恵を受けない人への対策として実施される。3万円の給付金額ということから、経済対策として一定の効果を期待している。

質問 支給率100%はなかなか難しい。低所得者という要件を確認し、漏れを少なくするため福祉担当課で確認し通知することができるか。

答弁 関係部署、税務課等と連携を取りながら通知し勧奨している。

質問 個人情報関係もあり制度的には簡単にはいかない。福祉から税情報を調べ通知することはできないと思うがどうか。

答弁 今回の通知も税務課から通知した。非課税になっていくとの通知文書の中に、臨時福祉給付金の事業の概要等の説明文を同封し送付した。

● 施政方針

- ・「ひとづくり協働構想」実現への市長の思いと具体的な事業
- 安心して生活するための取り組み
 - ・国土強靱化計画の策定
 - ・引きこもり状態の若者支援



永見 おしえ 議員

ロールモデルの確保、育成にも一体的に取り組んでいく。

質問 本市の現状の課題として宿泊の問題や交通の利便性などがあり、それをクリアしないとMICE誘致は難しいと思うがどうか。

答弁 課題があるのは承知している。MICE誘致の規模を100人から150人の会議等に絞り込み、本市ならではの体制整備とマーケティングの強化を図りたい。

質問 観光協会の強化と連携についての考えを問う。

答弁 現在の観光客のニーズの多様化に伴い、観光サービスにおけるワンストップ化や情報発信などの具体的な強化や人材育成を図る必要がある。当市と各観光協会との役割分担を明確にし、観光振興施策の効率的、効果的な展開に向け連携して取り組みたい。

質問 国土強靱化計画の策定は、今後も発生する

であろう大規模な自然災害から市民の生命・財産を守ることを最大の目的としている。そのための事前の備えを効率かつ効果的に行うという観点から、早急に策定すべきと考えが見解を問う。

答弁 本市の強靱化計画の推進については、県や県下の動向を見極めながら対応について検討していく。

質問 若者のひきこもり支援で、当市の相談窓口の周知やかかわりについて問う。

答弁 生活福祉課と子ども・若者支援センターがあり、不登校やひきこもりなど、さまざまな問題を抱えた子どもや保護者を、相談機関の関係者に対し、立ち直りに向けた相談や活動をおこなっている。チラシや無料相談電話の番号等を記載したマグネットを関係機関や児童・生徒に配布して取り組みの周知を図っている。

● 財政健全化への事業展開

- ・自主財源の確保策
- ・集中と選択による事業推進
- 美都学校給食共同調理場整備事業



野村 良二 議員

時期を逸することなく取り組む。

質問 自主財源の確保策を中・長期的にどう強化するのか。

答弁 市税の徴収率の向上、遊休資産の売却や貸し付けを積極的に進めるとともに、ふるさと寄附金の増額に取り組む。また、事務の簡素化や合理化を進め、市民の皆さまの理解と協力のもと、事務事業を徹底的に見直す中で、財源を生み出す努力をする。

質問 児童医療費助成制度の拡充を求める陳情が議会でも採択された。市民の大きな要望である。この制度をいち早く拡充する考えは。

答弁 児童医療費助成制度は、この地で子どもを産み育てやすい環境整備に欠かせない子育て支援のひとつ。国や県に引き

質問 市長がタイ王国を訪問した目的を問う。
答弁 一点目は、タイ王国に当市から進出した企業を視察し、ビジネスの

国際展開を見聞すること。二点目は、タイ王国からの観光誘致を図ること。三点目は市内の高校生の海外交流の相手先の可能性の調査を図ることであった。

質問 美都学校給食共同調理場整備事業費は当初概算額より増え、1億8千855万円となった。なぜこの事業にこだわるのか。

答弁 平成25年7月議会で予算と議案が可決され、実施設計の経費も議員全員の賛成で議決された。重ねてこの問題について質問されることは理解したい。行財政改革とは単なる事業費削減を強行するのではなく、市民福祉の向上を目的とし、住民ニーズに的確に応え、真に必要なサービスで最小の経費で最大の効果が上がるように提供することが重要。美都学校給食調理場整備も、市民福祉の向上のための必要な事業の一つと位置づけている。

- 災害時における危機管理
- 益田の医療
 - ・ 医療現場に合わせた行政と市民の対応
 - ・ 病気予防への対応
- 消防団の活動・団員確保



石川 忠司 議員

質問 大規模災害等に備え、短期的に的確な初期対応をする為、当市独自の官民連携の組織の構築について問う。

答弁 国土交通省・警察その他関係機関、及び自治会などを構成員とし、災害応急対策が円滑に実施できるように情報の共有を図っている。自主防災組織の活動支援を含め、行政と自治会・民間企業等と連携を図っている。

質問 当市の中核病院、益田赤十字病院・医師会病院・松ヶ丘病院は、医療の段階ごとに役割分担や相互協働による医療を目指してもらいたいと考えている。その中で行政、市民としての様な対応を求められるのか問う。

答弁 市議会では医療問題検討委員会を設け問題提起し、地域医療対策室の設置を促して来た経緯もある。また、市民団体の『益田の医療を守る市民の会』があり、医療や介護、健康に関する啓発活動を行っており、年々会員も増加している。市民対応としては緊急時を除き『コンビニ受診』を控えることも大事であると考えている。

質問 脳ドック検診の拡充をする必要があると思うが見解を問う。

答弁 脳血管疾患による死亡・後遺症等のリスク軽減を図るため、平成17年度から国保被保険者を対象に実施している。予防として重要であるが支援拡充については利用定員・検診内容・費用負担面の検討、併せて財源の確保が重要である。そうした事を踏まえ今後検討していきたいと考えている。

質問 消防団出動回数について問う。

答弁 消防団の出動は、平成26年度では火災等災害出動でのべ282人、その他捜索活動等でのべ2817人の出動があった。

質問 団員は職業を持ちながらの活動であり大変であると思う。高齢化に加え団員が減少する中、団員確保あるいは機材や施設の老朽化に対しどのような対策を考えているか問う。

答弁 団員確保は、当市以外の地域からの入団資格の緩和・消防団サポートター・消防団応援の店登録等で行う。機材・施設は、消防ポンプ積載車等は更新希望の20年を超える車両が三分の一を占めている、今後計画的に更新したい。

- 萩・石見空港
 - ・ 東京線2便化の取り組みと課題
- 学校給食
 - ・ 美都学校給食共同調理場の運営



安達 美津子 議員

質問 東京線2便化継続の取り組みは、当市や圏域にとつて多額な財政負担を伴っている。市民から、飛行機に税金をたくさん使って益田に何のメリットがあるのかという声も聞く。市民に対してこの事業が当市にどれだけの効果を及ぼすのかわからないか。空港路線の維持・確保をもって、地域活性化をどのように図ろうと考えているのか。

答弁 地域活性化の具体

的な取り組みは、首都圏からの旅行商品の造成、高津川、石見神楽など観光資源を活用した個人観光客の誘致、地元企業における事業活動の活発化などが考えられる。また、派生的に企業誘致、医師の確保、文化活動による誘客などが考えられる。

質問 パネルディスカッションの報告書の中で、2便化による経済波及効果は年間21億円と説明している。この根拠を問う。

答弁 年間有償旅客数14万人を達成した場合の島根県、山口県内における経済波及効果を山陰経済経営研究所が試算した。可能であれば、今後利用実態調査を行い、空港がもたらす地域経済への精緻な影響を明らかにしたい。

質問 平成27年度の利用支援事業負担金において萩市・阿武町を含んだ圏域市町の負担割合が積算されていた。しかし、平成28年度は萩市・阿武町が外れているがその理由を問う。

答弁 利用促進の事業費が増額してきた。これには山口県側も含んでいる。山口県側は大河ドラマなど大きなイベントに対し、ハード整備を行っており、空港利用においても相当の貢献がある。さまざまな状況から島根県営空港であることを考慮し、リスク負担については平成28年・29年度は島根県内で対応することとなった。

質問 美都の調理場を存続させる目的は、美都の地域振興・経済の活性化・雇用の拡大・地産地消を図ることと説明してきた。美都学校給食会が3月末で解散することになったが、そのことでのこれらの目的を果たすことができるのか。

答弁 美都総合支所が指導して地産地消に努めていく。また、地域振興・雇用の場の確保も行政が主導する中で、受託業者を含む関係者と一体となって目的を推進していきたい。

みなさんからの請願・陳情審議結果

3月定例会受理分

請願番号	件名	提出者	審議結果
1	所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について	益田民主商工会 会長 田原 寿夫	不採択
	青色申告と白色申告では経費等の面で差があり、これを同等に扱うことは、むしろ問題がある。また、一定の条件はあるものの青色申告への移行は可能であり、申告制度の発展という意味でも、同条の廃止は妥当でないとする。		
陳情番号	件名	提出者	審議結果
1	次期「第一種特定鳥獣(ツキノワグマ)保護計画」に関する意見書の提出について	クマ(ツキノワグマ)から子供達と住民の生活を守る会 会長 大畑 護	採 択

～ 広報広聴委員会報告 ～

平成28年度議会報告会は10月から実施予定です。(詳細は、広報ますだでお知らせします)

平成27年度は、市議会議員の改選の年でもあり、例年実施していた議会報告会については、実施時期や内容等について検討する年としました。

また、公職選挙法の改正により、選挙権年齢が18歳まで引き下げられ、今年夏の参議院議員選挙から実施される見込みであることから、益田市議会では選挙管理委員会と連携し、児童・生徒を対象とした「主権者教育支援事業」を開始しました。

実施内容

〈益田市議会模擬議会(シナリオ型)〉

・平成27年11月25日開催 対象者：益田東中学校3年生

〈主権者教育支援事業(議会の仕組みについて等)〉

・平成28年2月10日開催 対象者：益田高校3年生

・ // 2月24日開催 対象者：益田翔陽高校3年生

・ // 2月27日開催 対象者：益田高校2年生

・ // 5月13日開催 対象者：益田東高校1～3年生

・ // 5月18日開催 対象者：明誠高校3年生

・ // 5月19日開催 対象者：益田翔陽高校3年生



2月10日開催：益田高校3年生

★ 今定例会で可決し、関係機関に提出した意見書 ★

◆次期「第一種特定鳥獣(ツキノワグマ)保護計画」に関する意見書

◆参議院選挙制度に対する意見書



3月定例会議会が閉会を迎えました。多くの質疑を経て平成28年度予算が可決され、いよいよ4月から新年度が始まります。

この原稿を書いているのは3月末日、誰もが待ち望んだ桜の季節の到来です。日本において桜の代名詞となっているソメイヨシノは数本の種木から接ぎ木によって全国に広まっており、ほとんどの木が同一の遺伝子を持つクローンです。そのため一定の気候等の条件下で花を咲かせます。その証左として、ソメイヨシノは桜前線の北上とともに一斉に開花を迎えます。そして人々の胸を打つ見事な情景を描き、日本の春の訪れに華やかな彩りを与えてくれるのです。

一方でひとはどうでしょう。当然のことながらそんなことはありません。益田市という一つの地域でも市民の皆さまはそれぞれの感じ方、考え方があり、まさに十人十色の幸福を目指しています。

その一人ひとりの想いに行政は応えていかなければなりません。たとえ困難な道程であろうとも、それを目指し続ける覚悟が必要です。桜花の下、決意新たに努力してまいります。

高橋伴典

◆◆編集委員◆◆

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
弘中	梅谷	和田	大賀	中島	高橋	永見	安達
英樹	憲二	昌展	満成	賢治	伴典	おしえ	美津子

編集後記